

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	多摩区第2グループ(錦ヶ丘・三田)	評価対象年度	平成24年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	多摩区こども支援室

2. 事業実績

利用実績	1 錦ヶ丘こども文化センター ①年間延べ利用者数 23,009人 ②年間延べ利用団体数 364団体 2 南生田小学校わくわくプラザ ①登録者数 454人 ②年間延べ利用者数 23,248人 3 生田小学校わくわくプラザ ①登録者数 242人 ②年間延べ利用者数 11,280人  1 三田こども文化センター ①年間延べ利用者数 34,282人 ②年間延べ利用団体数 482団体 2 三田小学校わくわくプラザ ①登録者数 310人 ②年間延べ利用者数 12,498人
収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 94,081,285  2 支出 人件費 76,163,872 事業費 4,448,348 事務経費 9,954,400 その他経費 150,942 合計 90,717,562 3 差引 3,363,723
サービス向上の取組	ホスピタリティーマインドを重視し感動を共有する市民サービスに努めており、地域の子育ての拠点としての機能が一層高まっている。そのため、楽しさを共有しながら地域の中に、子どもと一緒に育てる意識を持つ人材がますます増えてきている。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	5	10
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由) 錦ヶ丘こども文化センターでは、「秋だ！祭りだ！ハロウィンだ！」「餅つき大会」等地域性のある行事で、地域住民と連携して多くの参加者があった。また、「ハンドメイドクラブ」「くいしんぼクラブ」では、保護者の興味関心も高くコミュニケーションの場が広がった。三田こども文化センターでは、「生田大橋に絵を飾ろう」で、落書きだらけの大橋の落書きを消して子どもたちの絵を飾ったところ、新たな落書きを無くすことに成功し地域防犯に大きく貢献した。その他にも「ふるさと生田を大切にしよう」を合言葉に、「みたっこパトロール隊」「生田緑地をきれいにしよう」「ゆるきやらを作ろう」「みちやっこ広場」など、行政・自治会・大学、高校、保育園など地域の関係団体が一体となって、地域の子どもと一緒に育てる取組を大変活発に行っている。また、アスクル登録を積極的に推進し、30%増となった。・夜間利用も昨年度より20%増加した。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費削減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
支出に見合う効果が得られているか					
(評価の理由) 金銭管理・会計手続についても適切に行われ、概ね提案どおりの経費執行であった。経費の縮減にも具体的な取組があった。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	3	3
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	子ども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	3	6
<p>(評価の理由) 地域と一体となって運営を行い、子どもたちと一緒に育てる意識を持つ人材が多く育っており昨年に比べ30%増となっている。そして、「地域課題の解決」「ふるさとを大切にす」という「共通の目標」に向かい地域と一体となった取組を多く行っている。保護者懇談会の意見を反映して親子行事を増やしたり、利用者のニーズの把握に努めている。また、アスクルの登録者が増えたことにより、子ども運営会議の参加者が増え、子どもたちの主体的な取組につながった。運営協議会と連携した行事では、多くの地域の関係団体と交流し、地域で子育てを支えるネットワークの拡充を図っている。大学の研究室と連携した事業や地域の関係団体(町会やPTA等)と連携した事業など、地域社会全体で子どもを見守る体制を整えている。また、百合丘高校とは同校のホームページから子ども文化センターのホームページにリンクできるなどの連携をしている。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		子ども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおり人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	3	6
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
<p>(評価の理由) 子ども文化センター及びわくわくプラザ共に、提案どおり適正な配置がなされていた。研修は財団主催研修並びに各館ごとの実施研修ともに、計画的に実際に活かせる研修を行っている。三田子ども文化センターでは、マニュアルに沿った具体的な防災対応研修を行い、体制を整えることができた。個人情報保護に関しても、規定・体制等が整備され、トラブルはなかった。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	4	4
		災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか			
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
<p>(評価の理由) ブロウウンウインドウズ現象を念頭に置き、環境整備に迅速に対応している。消防設備(誘導灯、感知器)に破損防止器具を設置した。わくわくプラザでは、児童用ビブスを購入して安全確保に努めた。また、配水管の高圧洗浄等により衛生面の向上を図った。職員・臨職へのインフルエンザ予防接種費用補助を行い感染症予防対策に努めている。更に災害時に備え、わくわくプラザに防災遮光カーテンを設置し、非常用発電機や簡易トイレセットを購入した。また、災害時の対応については各施設が管轄する小学校と協議しており、地域子育て支援センターのある子ども文化センターは、運営団体と共に避難訓練を実施している。</p>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	67	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

財団のスケールメリットを活かした人員配置、経費削減、また、公益法人としての収支相償の会計原則の厳守による剰余金での環境整備など、運営面においては安定的な執行がなされている。

また、各館が培ってきた地域住民や関係機関との連携も非常に良好で、今後も地域一体となった運営が期待できる。

更に利用者の安全や災害時の対応に配慮した備えを常に準備しており、適正な業務を遂行している。

三田子ども文化センターでは、生田大橋の落書きをなくして地域防犯に大きく貢献するなど、「地域課題の解決」「ふるさとを大切にす」という共通の目標のもと、子ども文化センターがパイプ役となり、地域社会が一体となったダイナミックな活動を展開していることが特筆される。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

収容人員が多いわくわくプラザなど、環境が厳しい施設もあるため、引き続き安全等に十分配慮した運営を心がけていただきたい。また、利用者のニーズ等に応じて、サービス向上に努めていただきたい。